

なかつか 亮



76年 84年 02年

3回の品川区議会「廃止決議」

街を壊す 29号線はきっぱり中止を！



大井町駅前

左：「住民の会」の宣伝



西大井4丁目

右：29号線(幅20m)と31号線(幅15m)の交差点予定地。「静かな住宅街が壊れる」と不安の声があがっています。

戦後直後に都市計画決定された29号線や、ここに接続する31号線など道路計画が68年ものあいだ、なぜ中止されてきたのか。そこには住民の強い反対運動や品川区議会の3回にわたる「29号線廃止決議」など住民意見を反映した地方自治の力がありました。ところが2年前に東京都が新たな整備計画を示すと、品川区議会の自民党や公明党ら与党は計画の「廃止」から「推進」に態度を変え。住民意見を反映させる議会の役割が正面から問われます。

住み続けたい

町会を分断し長年生

活している住民に立ち

退きを求める29号線

など道路計画。自宅の

一部が計画地にかかる

高齢者からは「突然、

道路をつくるので土地

の提供をと言われるも

困ります。ここは親子

3代にわたって暮らし

てきた場所。今のまま

住み続けたいと願うば

かりです」と話します。

31号線計画

さらに29号線と西

大井4丁目につながる

31号線について「接

続する道路整備につい

ても検討します」と明

記する区長期計画「改

訂版」を今年4月に濱

野区長が発表。31号

線は現在のところ実施

時期は示されていない

ものの、29号線と連

動する計画だけに地域

住民の不安は募ります。

終戦翌年の決定とは

街を壊し、住み慣れ

た家から住民を立ち退

させる道路計画が都市

計画決定されたのは昭

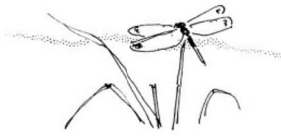
和21年。まさに終戦

翌年の混乱期に定めら

れたものです。裏へ



写真は戦後直後の昭和20年代の戸越公園駅前。この時代の道路計画復活とは時代錯誤です。区HPより



3回の「廃止」決議

しかし、これら道路計画は戦後、実施が浮上するたびに「街を壊すな」と反対運動が広がり、区議会といっしょに止めてきた経過があります。

品川区議会には繰り返し住民から計画廃止を求める署名が提出され、1976年（昭和51年）には全会派一致で初めての計画廃止決議を可決し都に計画廃止を要請しました。

その後、84年、0

2年と合計3回も廃止決議を可決し計画実施を跳ね除けてきました。

3回目となる02年の廃止決議では自民区議は「全会派の方々が紹介議員。この地域の方々の大多数の気持ちだと思う。何としてでも伝える必要がある」、民主区議は「悲痛な住民の皆さんの声をどう伝えていくのか。賛成です」、公明区議は「過去2回、区議会で

採択された。今回、東

京都がやると明確な意思を示した。再度、29号線の計画廃止を願う」と発言。共産党含め全会派一致で廃止を都に要請しました。

推進に変更とは

許せません

ところが今は廃止署名に自民、民主ら与党は反対。推進に変わった理由を「防災対策だから」と説明します。

しかし29号線など道路建設が、防災に有効でないことはすでに実証済み。逆に防災に必要な地域の力を壊す計画です。防災対策は別の方法があります。なによりも、住民の願いに背を向けるとは許せません。計画廃止へ、政治を動かす力を強める必要があります。

計画廃止の手続き

「都市計画道路の廃止手続きですが、この補助29号線は東京都の決定案件です。東京都で廃止する手続きは、都市計画審議会にお諮りした上で、廃止を都として決定します」

◆建設委員会2002年7月1日 区答弁◆

29号線の廃止は可能！！

昭和41年に1.6km廃止・短縮されました

実は29号線は昭和41年に一部計画が廃止になった経過があります。昭和21年決定当時の29号線は、港区の品川駅から高輪を抜け、品川区の山手通りを横切り、大田区の馬込への抜ける全長6.7kmでしたが、「財政状況からみて現実的でない」と高輪区間1.6kmが計画廃止となり、短縮されました。

昭和21年決定当時と、いまの街並みも社会状況も全く異なります。古い計画にしがみつくのではなく、時代にあった計画に見直すことは当然ではないでしょうか。なお計画廃止の手続きは、右のように区が2002年の建設委員会で説明しています。 なかつか亮

次回の「気軽な町の無料法律相談会」は日程が決まり次第ご案内します